



## 2021年度 期末連結決算

### コロナ禍の影響を大きく受けた前年からは損益改善

関西エアポート株式会社は、2021年4月から2022年3月までの第7期会計年度連結決算において、営業収益は664億円、営業損益は332億円の損失、経常損益は426億円の損失、当期純損益\*は302億円の損失を計上しました。

当期は、新型コロナウイルス感染拡大の影響の長期化により、依然として厳しい状況にあるものの、大きく影響を受けた前年度と比較すると、営業収益は16%の増加となりました。また、費用の削減を継続して取り組み、営業損益では前期比96億円の増益、経常損益では94億円の増益、当期純損益では43億円の増益となり、損益は改善しました。

(連結損益計算書)

(単位：億円)

	2020.4-2021.3	2021.4-2022.3	増減	%
営業収益	572	664	92	+16%
外部費用	(583)	(567)	16	-3%
EBITDA	(11)	96	108	-
減価償却費	(417)	(429)	(12)	+3%
営業損益	(428)	(332)	96	-
経常損益	(520)	(426)	94	-
当期純損益*	(345)	(302)	43	-

\* 「当期純損益」は、「当社株主に帰属する当期純損益」を記載しています。

(航空需要の状況)

新型コロナウイルス感染拡大の影響の長期化により、依然として厳しい状況にあるものの、大きく影響を受けた前年と比較すると、航空需要が増加し、3空港合わせた航空機発着回数は20.7万回、航空旅客数は1,288万人と、前年度と比べそれぞれ28%増、39%増となりました。国際線につきましては、各国および日本政府の出入国制限が継続したこともあり、国際線旅客数は前年よりも30%増加するものの限定的でした。国内線につきましては、ワクチン接種率の上昇に伴い人の移動が徐々に回復したため、3空港合計で前年を39%上回る結果となりました。また、国際線旅客便運休による貨物スペースのひっ迫やコンテナの偏りなどから生じる船舶輸送の不安定な運行の影響により国際貨物便は増加しました。

	2020.4-2021.3	2021.4-2022.3	増減	増減率
航空機発着回数（万回）	16.2	20.7	4.5	+28%
関西国際空港	5.8	7.2	1.4	+24%
大阪国際空港	8.1	10.6	2.5	+31%
神戸空港	2.3	3.0	0.7	+29%
航空旅客数（万人）	928	1,288	360	+39%
関西国際空港	226	363	137	+61%
大阪国際空港	581	750	169	+29%
神戸空港	121	175	54	+44%

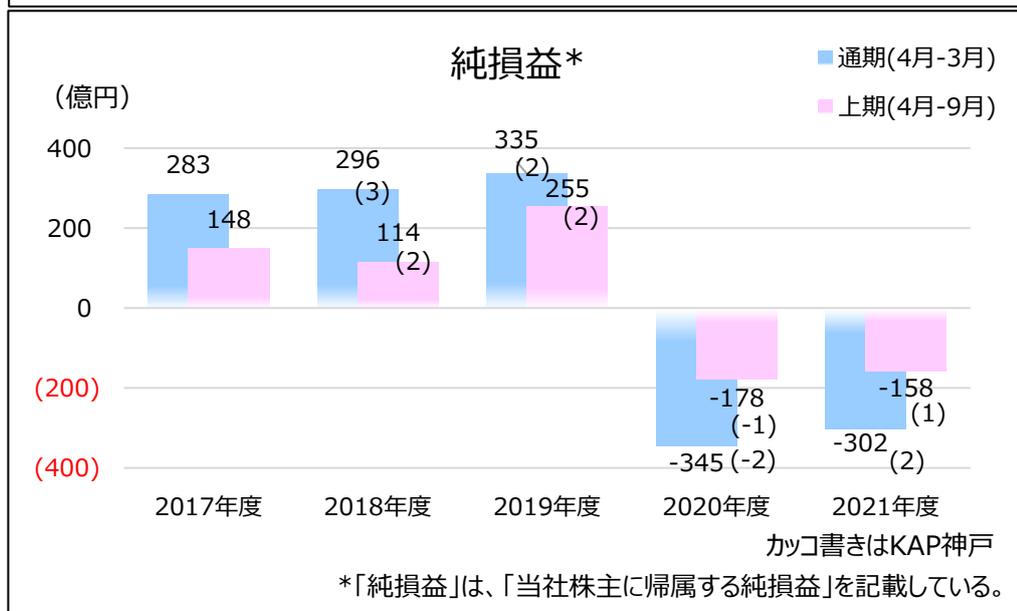
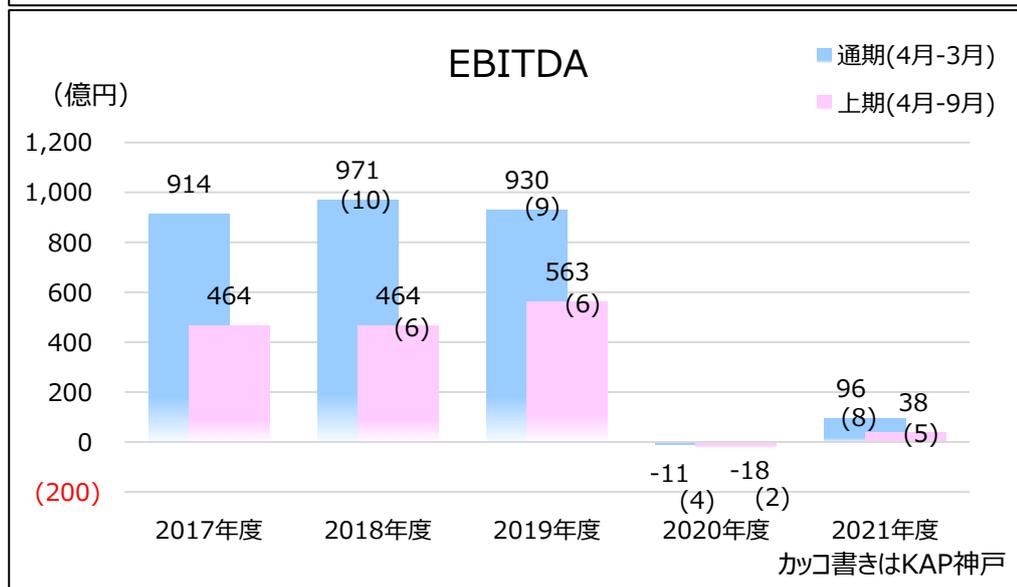
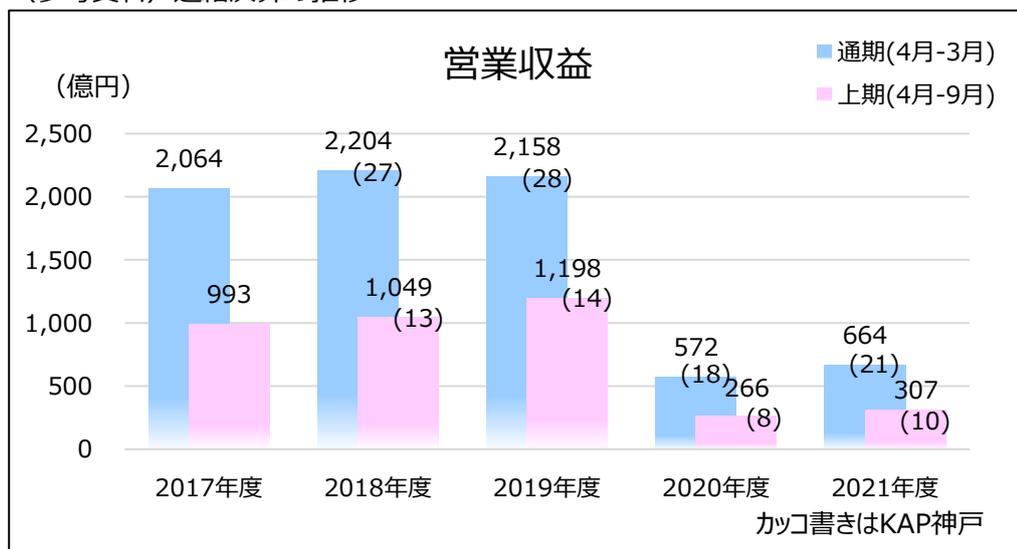
(連結貸借対照表)

2022年3月31日現在における財政状態は、前期末と比べると、公共施設等運営権の減価償却による減少などにより、資産合計は1兆6,303億円となりました。また、未払金や公共施設等運営権の支払いなどにより、負債が減少した結果、負債合計は1兆5,846億円となりました。

(単位：億円)

	2021.3.31 現在	2022.3.31 現在	増減
流動資産	1,210	935	(275)
固定資産	15,649	15,368	(281)
<b>資産合計</b>	<b>16,859</b>	<b>16,303</b>	<b>(556)</b>
流動負債	803	641	(163)
固定負債	15,302	15,205	(97)
<b>負債合計</b>	<b>16,105</b>	<b>15,846</b>	<b>(260)</b>
株主資本	742	440	(302)
その他の包括利益累計額	(5)	(1)	4
非支配株主持分	17	19	2
<b>純資産合計</b>	<b>754</b>	<b>457</b>	<b>(296)</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>16,859</b>	<b>16,303</b>	<b>(556)</b>

(参考資料) 連結決算の推移



**【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】**

関西エアポート株式会社  
 グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション  
 Tel : 072-455-2201

# 連 結 損 益 計 算 書

〔 自 2021 年 4 月 1 日 〕  
〔 至 2022 年 3 月 31 日 〕

(単位: 百万円)

営業収益		66,368
営業原価		87,651
営業総損失		21,283
販売費及び一般管理費		11,959
営業損失		33,242
営業外収益		2,768
受取利息及び配当金	513	
持分法による投資利益	9	
雇用調整助成金	1,479	
その他の営業外収益	766	
営業外費用		12,159
支払利息	11,939	
支払手数料	156	
その他の営業外費用	63	
経常損失		42,632
特別利益		1,164
災害損失引当金戻入額	195	
固定資産売却益	1	
補助金収入	14	
災害に伴う受取保険金	952	
特別損失		1,774
固定資産除却損	170	
固定資産圧縮損	84	
更新投資に伴う撤去費用	811	
災害による損失	12	
商品評価損等	694	
税金等調整前当期純損失		43,243
法人税、住民税及び事業税	561	
法人税等調整額	△ 13,738	
当期純損失		30,066
非支配株主に帰属する当期純利益		168
親会社株主に帰属する当期純損失		30,235

(記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。)

# 連結貸借対照表

〔2022年3月31日現在〕

(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
<b>流 動 資 産</b>	<b>93,534</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>64,065</b>
現金及び預金	74,531	買掛金	314
売掛金	5,955	未払金	11,179
契約資産	22	未払費用	2,722
商 品	1,875	短期借入金	10,000
原材料及び貯蔵品	1,287	1年内返済予定の長期借入金	3,981
1年内回収予定の差入保証金	2,203	1年内支払予定の公共施設等運営権に係る負債	30,145
未 収 金	1,718	未払法人税等	1,956
そ の 他	5,967	契 約 負 債	1,464
貸倒引当金	△ 28	賞 与 引 当 金	1,007
		ポ イ ン ト 引 当 金	40
		そ の 他	1,252
<b>固 定 資 産</b>	<b>1,536,809</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>1,520,533</b>
有 形 固 定 資 産	<b>31,408</b>	社 債	4,860
建物及び構築物	3,657	長 期 借 入 金	199,155
機械装置及び運搬具	10,744	公共施設等運営権に係る負債	1,252,205
工具器具備品	6,067	特 別 修 繕 引 当 金	49,448
土 地	603	退 職 給 付 に 係 る 負 債	5,683
建設仮勘定	10,232	そ の 他	9,180
そ の 他	103		
無 形 固 定 資 産	<b>1,376,080</b>		
公共施設等運営権	1,312,514		
更新投資に係る資産	61,211	<b>負 債 合 計</b>	<b>1,584,598</b>
そ の 他	2,355	<b>純 資 産 の 部</b>	
投資その他の資産	<b>129,320</b>	株 主 資 本	<b>43,960</b>
投資有価証券	1,181	資 本 金	25,000
退職給付に係る資産	308	資 本 剰 余 金	25,000
差入保証金	90,624	利 益 剰 余 金	△ 6,039
繰延税金資産	36,947	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△ 98</b>
そ の 他	495	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 98
貸倒引当金	△ 236	非 支 配 株 主 持 分	1,883
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>45,746</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>1,630,344</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>1,630,344</b>

(記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。)



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/) をご参照ください。

#### 関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

#### 関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



#### オリックスグループについて

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界31カ国・地域に拠点を設け、グローバルに活動しています。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、欧州、アジア、南北アメリカ大陸の12か国において53空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

# 2021年度 期末連結決算

2022.06.13



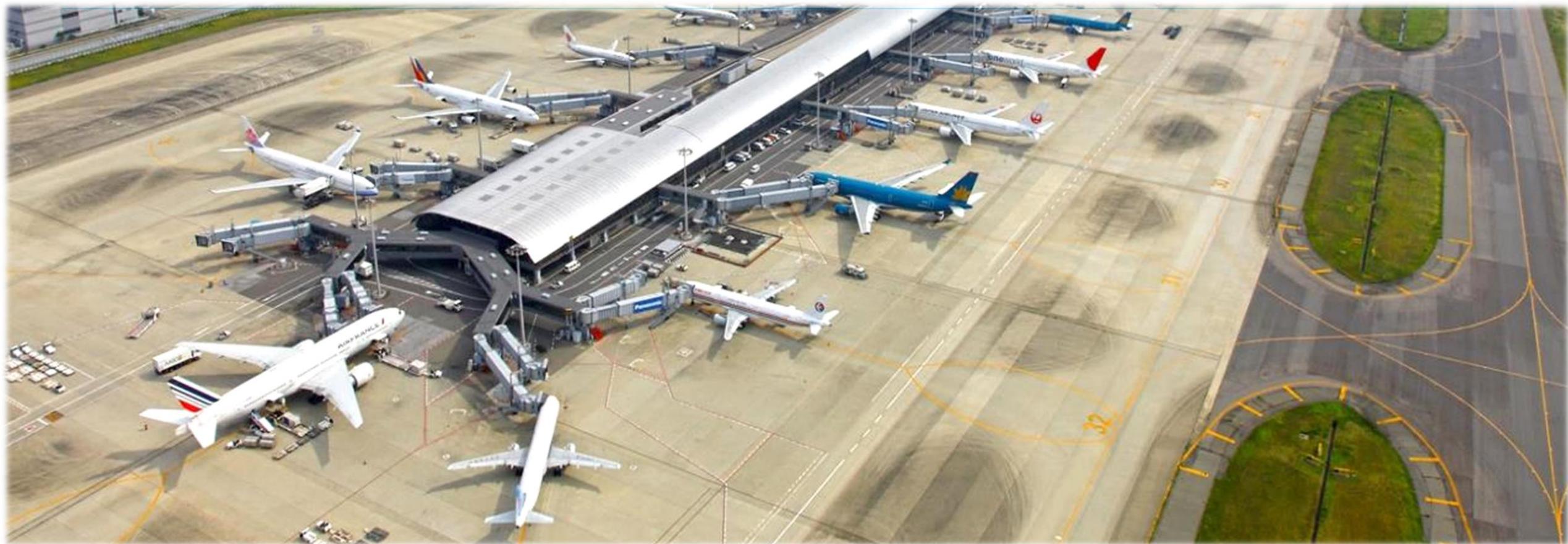
Shaping a New Journey



# アジェンダ

- 2021年度 期末連結決算の概要
- 営業収益分析
- 2021年度の取り組み
- 質疑応答





# 2021年度 期末連結決算の概要

# コロナ禍の影響を大きく受けた前年からは損益改善

【単位：億円】

1. 新型コロナウイルス感染拡大の長期化により依然として厳しい状況にあるものの、大きく影響を受けた前年と比較すると、航空需要は増加。

2. 発着回数・旅客数の増加を受け、前年と比べ増収。

3. 費用の削減に継続して取り組み、前年からは損益改善。

	2020.4-2021.3	2021.4-2022.3	増減	%
営業収益	572	<b>664</b>	+92	+16%
EBITDA	(11)	<b>96</b>	+108	-
営業損益	(428)	<b>(332)</b>	+96	-
経常損益	(520)	<b>(426)</b>	+94	-
当期純損益*	(345)	<b>(302)</b>	+43	-

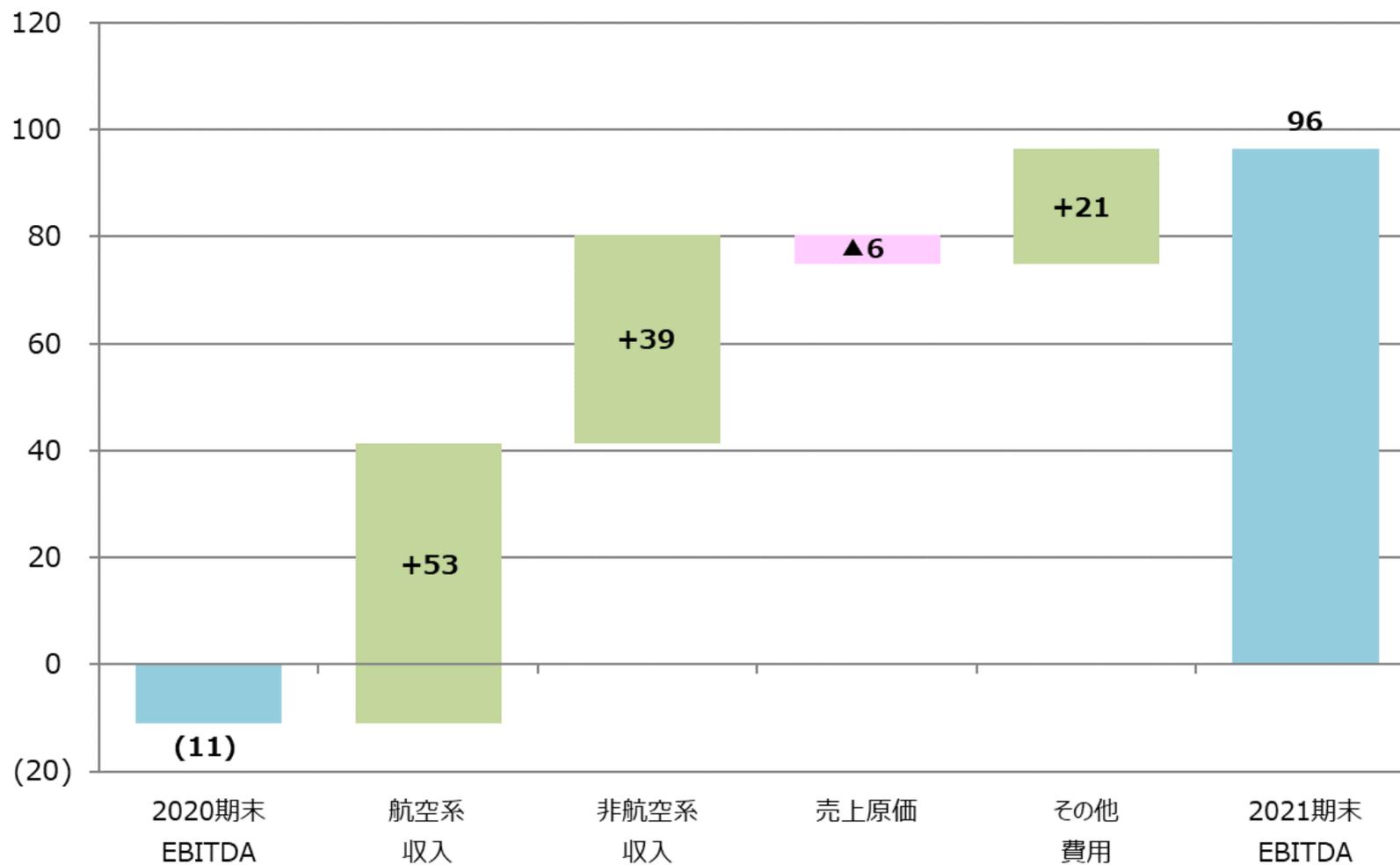
# 経営成績

【単位：億円】

	2020.4-2021.3	2021.4-2022.3	差額	%	うち 台風影響額
営業収益	572	664	92	+16%	
航空系	207	260	53	+25%	
非航空系	365	404	39	+11%	
営業費用（減価償却費除く）	(583)	(567)	16	-3%	
EBITDA	(11)	96	108	-	
減価償却費	(417)	(429)	(12)	+3%	
営業損益	(428)	(332)	96	-	
営業外損益	(92)	(94)	(2)	-	
経常損益	(520)	(426)	94	-	
特別損益	26	(6)	(32)	-	(46)
法人税等、非支配株主帰属損益	149	130	(19)	-	(14)
当期純損益*	(345)	(302)	43	-	(32)

# EBITDA（前年比）

【単位：億円】



# バランスシート

【単位：億円】

	2021.3.31現在	2022.3.31現在	増減
流動資産	1,210	935	(275)
うち 現金及び預金	928	745	(183)
固定資産	15,649	15,368	(281)
<b>資産合計</b>	<b>16,859</b>	<b>16,303</b>	<b>(556)</b>
流動負債	803	641	(163)
固定負債	15,302	15,205	(97)
<b>負債合計</b>	<b>16,105</b>	<b>15,846</b>	<b>(260)</b>
株主資本	742	440	(302)
その他の包括利益累計額	(5)	(1)	4
非支配株主持分	17	19	2
<b>純資産合計</b>	<b>754</b>	<b>457</b>	<b>(296)</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>16,859</b>	<b>16,303</b>	<b>(556)</b>
<b>【参考】</b>			
有利子負債残高	1,869	2,180	311

公共施設等  
運営権等

公共施設等  
運営権に係る負債等



# 營業收益分析

# 【航空系】発着回数・旅客数ともに前年度を上回ったものの、回復は限定的

## → 発着回数・旅客数

COVID-19発生直後の前年度との比較では、3空港合計の発着回数は28%増、旅客数は39%増。ただし、COVID-19発生前との比較では、回復は限定的。

## → 国際旅客便・国際貨物便

2021年度中は水際対策が強化されていた期間が長く、旅客便の運航便数・旅客数は大きな回復には至らず。一方、国際貨物便は、旅客便の減小に伴う貨物輸送スペースの不足を補うため増加。前年度に引き続き、再び年度として過去最高便数を記録。

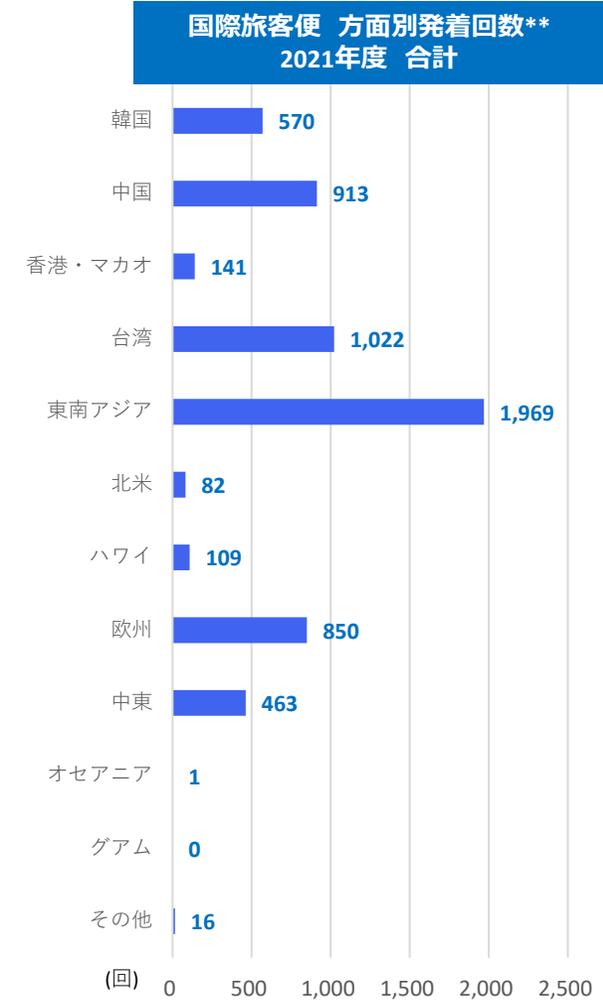
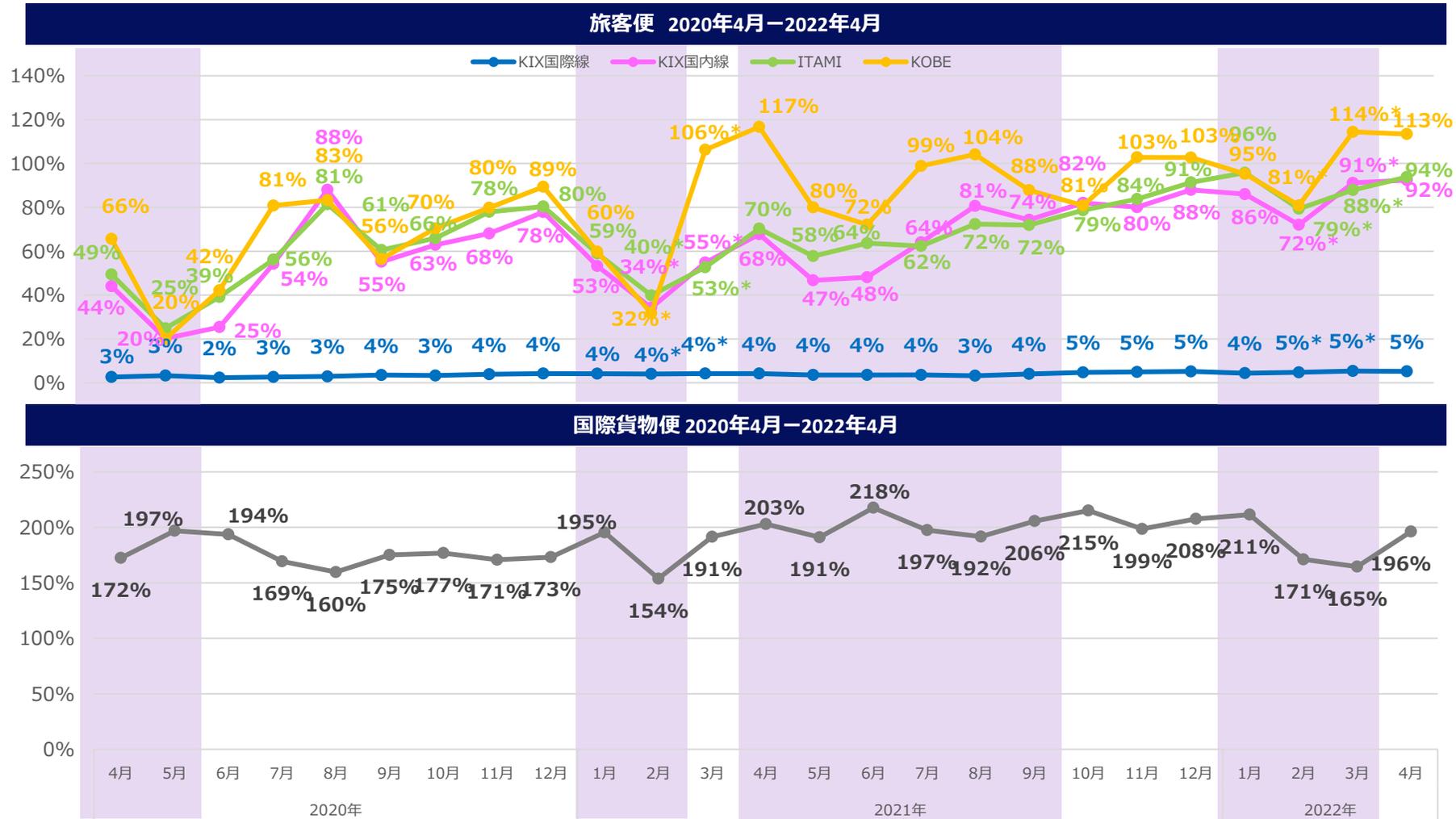
## → 3空港国内旅客便

変異株の流行による相次ぐ感染波や緊急事態宣言等の発令により、断続的な旅客需要の回復となったが、前年度比では3空港とも旅客数増加。

	2019年度	2020年度	2021年度	前年差	前年比
<b>発着回数 (万回)</b>	<b>36.6</b>	<b>16.2</b>	<b>20.7</b>	<b>4.5</b>	<b>+28%</b>
関西国際空港	19.6	5.8	7.2	1.4	+24%
大阪国際空港	13.7	8.1	10.6	2.5	+31%
神戸空港	3.3	2.3	3.0	0.7	+29%
<b>航空旅客数 (万人)</b>	<b>4,782</b>	<b>928</b>	<b>1,289</b>	<b>360</b>	<b>+39%</b>
関西国際空港	2,877	226	364	138	+61%
国際線	2,206	21	27	7	+33%
日本人旅客	717	7	12	5	+69%
外国人旅客	1,469	13	14	1.1	+8%
国内線	671	205	336	131	+64%
大阪国際空港	1,577	581	750	169	+29%
神戸空港	329	121	175	54	+44%

# 【航空系】 関西3空港 発着回数（2019年度比）

は、関西圏での緊急事態宣言・まん延防止等重点措置発令期間を含む月

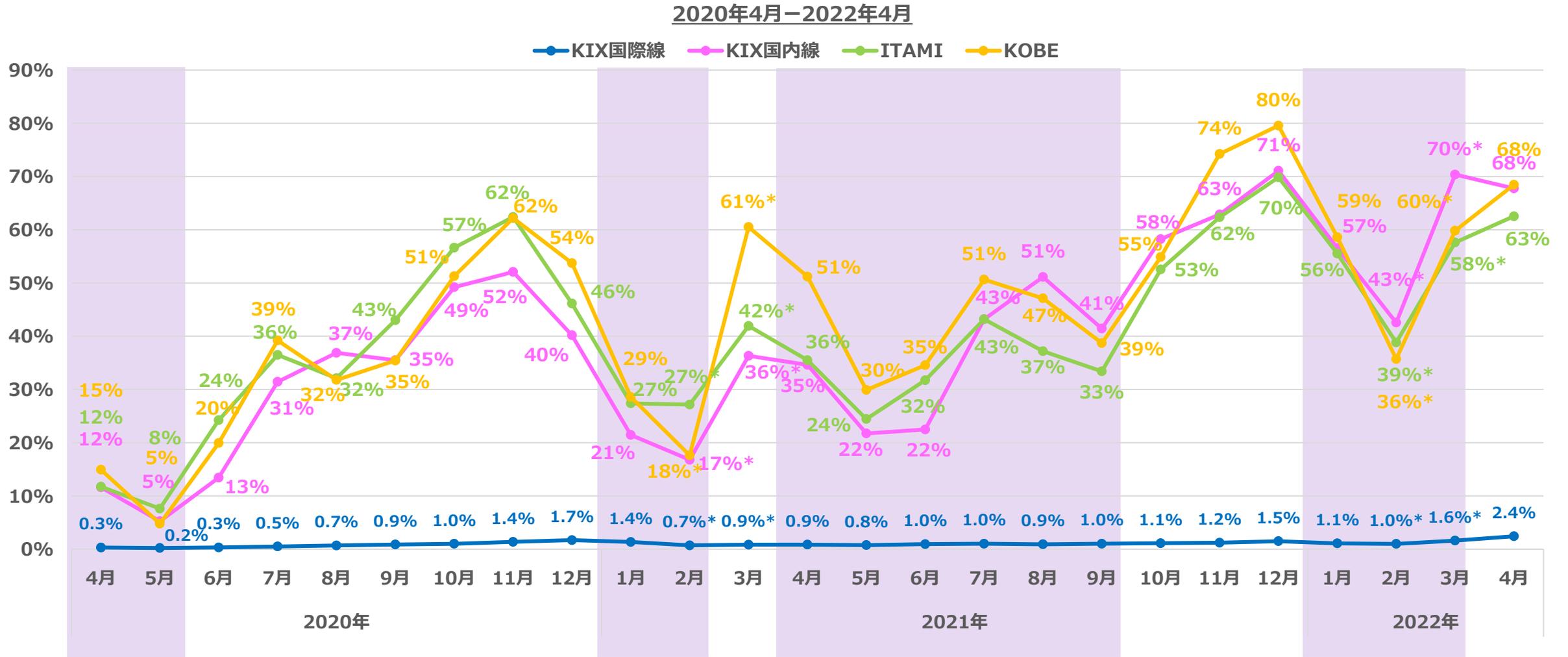


\* 2020年2、3月はすでに新型コロナウイルスによる影響を受けていたため、2021年2、3月および2022年2、3月は2018年度比で記載

\*\*国際旅客便には、貨物輸送を目的とする運航が一部含まれる

# 【航空系】 関西3空港 旅客数 (2019年度比)

は、関西圏での緊急事態宣言・まん延防止等重点措置発令期間を含む月



# 【航空系】国内線：21年度中の増便

路線拡大

新規就航  
増便

日本トランスオーシャン航空  
2021/4/29 関西＝宮古就航



フジドリームエアラインズ  
2021/8/27 神戸＝松本  
ダブルデイリー化  
2022/3/27 神戸＝新潟就航



Peach

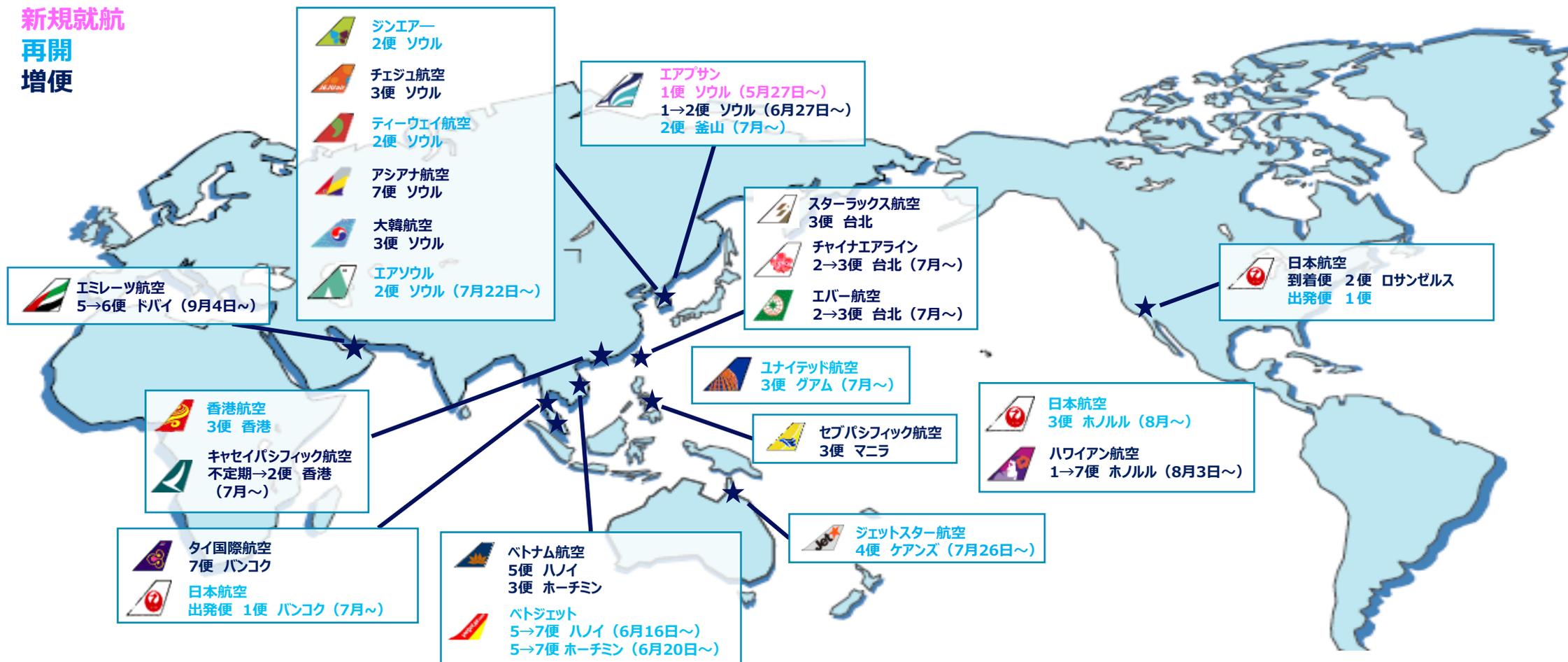
2021/7/1 関西＝女満別就航  
2021年度中8月以降は  
コロナ前2019年を上回る便数を運航



# 【航空系】国際線：直近の路線拡大状況（2022年6月8日時点）

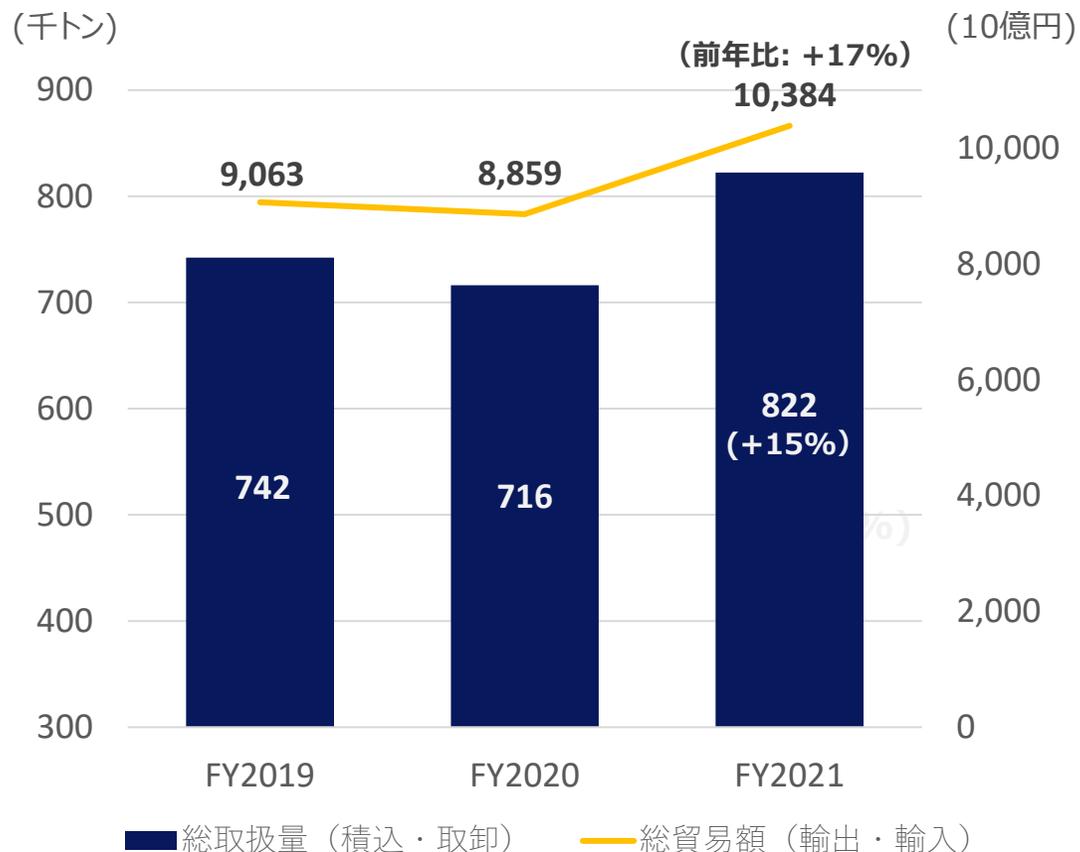
路線拡大（週あたり便数）

新規就航  
再開  
増便



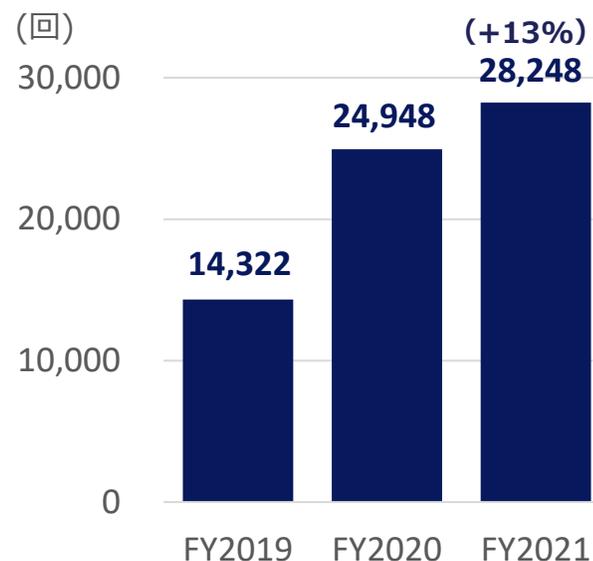
# 【国際貨物】 発着回数・貨物量・貿易額

## KIX/貨物量・貿易額

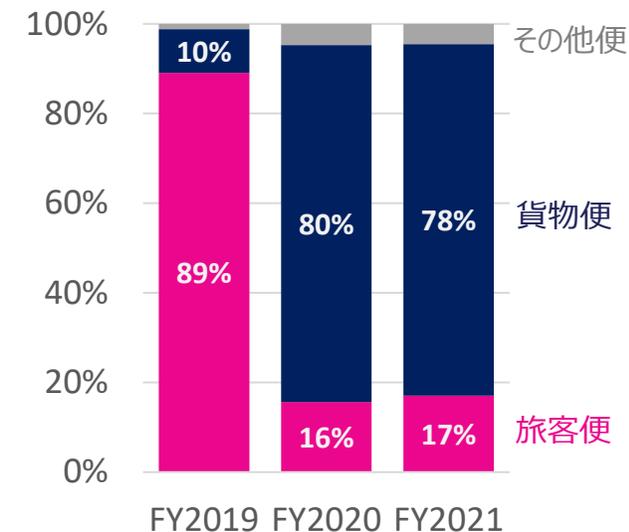


- ✧ コロナ禍以降、旅客便運休で貨物輸送スペース不足となり貨物輸送力確保のため、貨物便・旅客機利用の貨物便の発着回数が高水準となっており、2021年度には過去最高の発着回数を記録。
- ✧ コロナ禍でも好調なEコマースや、海上輸送の混乱による航空輸送への振替、ワクチンを含めた医薬品の輸送等により、貨物量・貿易額ともに昨年度および2019年度を上回った。

## KIX/貨物便発着回数

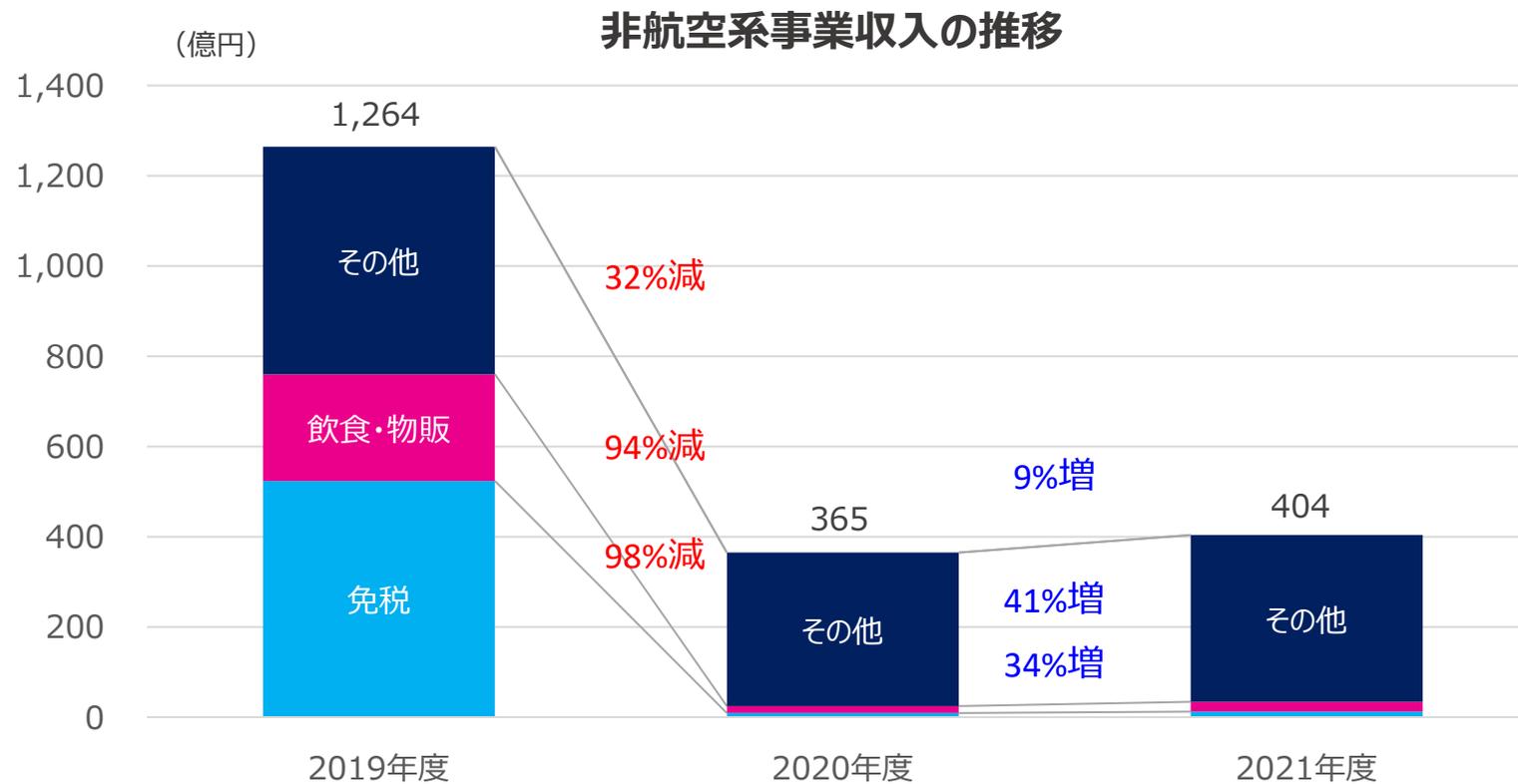


## KIX/国際線発着回数シェア



# 【非航空系】 新型コロナウイルスの影響が継続するも年度収入は前年比微増

- 長期化する新型コロナウイルス感染症の影響で、航空旅客数が大幅に減少し、非航空系事業収入は引き続き厳しい状況が続くものの、国内線旅客の回復がみられた2021年度の収入は+39億円(+11%)と微増。
- 航空旅客数や顧客ニーズの変動を捉え、感染症対策を徹底しながら店舗の営業支援や利用促進に努めた。



# 最近の往来再開に向けた動き

- ・日本政府が外国人観光客の入国受入再開（6月10日）
- ・外務省が米国など36カ国・地域の感染症危険情報を レベル1に引き下げ（5月26日）
- ・世界経済フォーラム（WEF）が発表した2021年版の旅行・観光開発力の調査で、日本が初めて首位（5月24日）

## 関西エアポートの動き

- ・6月1日、ポケットーク株式会社よりAI翻訳機「ポケットーク」を250台を寄贈いただいた。
- ・7月9日、サンシャイン池袋にて関西国際空港の航空会社とともに、利用促進及びT1リノベーションのPRイベントを開催予定
- ・2023年に開催される「第18回ACIアジア太平洋地域総会※」をホストとして兵庫県神戸市で開催。関西として初開催。



AI翻訳機「ポケットーク」寄贈式の様子



第17回アジア太平洋地域総会 引き継ぎ式の様子

# 諸外国の外国人観光客受入状況について（2022年6月10日時点）

## 水際対策の効果

WHOは、渡航制限を行わないよう勧告している。  
“旅行禁止や乗客の入国拒否は、通常、感染症の流入を防ぐ効果はないが、経済的、社会的に大きな影響を与える可能性がある。”

## 受入れ再開

- ヨーロッパ・アメリカ：2021年再開
- アジア各国：2022年初頭～
- 中国と台湾は現状観光客は入国不可

	観光客受け入れ再開	入国規制緩和
		(検疫措置の免除等)
メキシコ	2020年6月1日	2021年5月9日
トルコ	2020年6月12日	2021年6月12日
フランス	2021年5月9日	2021年5月9日
イタリア	2021年5月12日	2021年5月12日
ドイツ	2021年5月12日	2021年5月12日
イギリス	2021年5月17日	2022年3月18日
スペイン	2021年6月7日	2021年6月7日
スイス	2021年6月28日	2021年6月28日
ブラジル	2021年7月28日	2021年7月28日
アメリカ	2021年11月8日	2021年11月8日
インド	2021年11月15日	2022年2月14日
インドネシア	2022年1月12日	2022年3月22日
タイ	2022年2月1日	2022年2月1日
フィリピン	2022年2月10日	2022年2月10日
オーストラリア	2022年2月21日	2022年2月21日
ベトナム	2022年3月15日	2022年3月15日
シンガポール	2022年4月1日	2022年4月1日
韓国	2022年6月1日	2022年3月21日
日本	2022年6月10日	2022年3月1日
中国	入国不可	必須

# 諸外国の外国人観光客受入状況について（2022年6月2日時点）

2019年、関西国際空港で国際線が就航していた  
**25の国・地域のうち**

**20** か国は、**観光客を全面的に受け入れており、隔離も不要**です※

**19** か国は、**空港での新型コロナウイルス検査が不要**です※

**17** か国は、**出国前検査証明の提出が不要**です※

## <すべての措置を撤廃>

フランス、オランダ、イギリス、ドイツ、フィンランド  
シンガポール、ベトナム、タイ、フィリピン、インドネシア  
マレーシア、モンゴル、UAE、ニューカレドニア  
オーストラリア、ネパール

## <観光客に対しての入国制限あり>

インド（一部の国・地域のみ）、中国、香港（隔離義務あり）、台湾、マカオ

## <空港での検査が必要>

カナダ（ランダム）、インド（ランダム）、中国、香港、台湾、マカオ

## <出国前検査証明の提出が必要>

韓国、インド、アメリカ、中国、香港、台湾、マカオ  
ニュージーランド



## 2021年度の取り組み

# 2021年度の主な取り組み

## 3空港

- ・3空港で2021「空の日」リレーメッセージ動画配信（9/20～30）
- ・3空港で日本初、空港カーボン認証レベル 4 を取得（11/5）
- ・国内線出発前お土産予約サイト「関西旅日記」オープン（12/7）
- ・関西 3 空港における環境配慮規程の制定（3/28）

## KIX

- ・24時間営業カフェラウンジがオープン（4/30）
- ・T1リノベーションの安全祈願祭・起工式を実施（5/28）
- ・神戸大学と「T2スマート空調実証試験」を開始（6/30）
- ・自律走行型巡回監視ロボット導入（10/25）
- ・災害対策工事が完了（10/28）
- ・「空の日」「空の旬間」KIX Runway Walk を開催（11/21）
- ・PCR 検査クリニックがオープン（12/13）
- ・AODB（Airport Operational Data Base）を運用開始（2/9）
- ・水素で走る燃料電池バスの導入（3/1）



24時間営業カフェラウンジ (KIX)



T1リノベーション安全祈願祭・起工式 (KIX)



KIX Runway Walk (KIX)



災害対策工事が完了 (KIX)



PCR検査クリニック (KIX)



燃料電池バス (KIX)

# 2021年度の主な取り組み

## ITAMI

- ・関西エアポート×ジェイエア「ITAMI空の市」を開催（4/4、7/22、10/30、12/17・18、3/12・13）
- ・新型コロナ PCR 検査センターがオープン（7/14）
- ・ITAMIランウェイウォークを開催（10/2）
- ・ITAMI 日帰り体験ツアー（J-AIR チャーターフライト）を実施（11/20）
- ・ITAMIウィンターイルミネーションを開催（12/14～1/7）
- ・横断歩道ルーフの設置（3/24）

## KOBE

- ・コミュニティ型図書館「まちライブラリー@神戸空港」を開設（7/1～3/31）
- ・夏休み・早朝親子滑走路ウォークを開催（7/24）
- ・ポップアップショップ「神戸空港 SORAマーケット」を開催（7/30～）
- ・ロボット接客の実証実験を実施（9/17～9/26）
- ・ウィンターイルミネーションを開催（11/14～2/28）
- ・搭乗者4000万人達成記念セレモニーを開催（12/15）
- ・神戸空港アクセスバス プレゼントキャンペーン（12/24～1/23）



新型コロナPCR検査センター（ITAMI）



ITAMIランウェイウォーク（ITAMI）



横断歩道ルーフ（ITAMI）



ロボット接客実証実験（KOBE）



搭乗者4000万人達成記念セレモニー（KOBE）



神戸空港 SORAマーケット（KOBE）